

新庁舎整備事業市民説明会 2021
意見交換結果概要（12月12日古井地区開催分）

○日 時 令和3年12月12日（日）午前10時～11時30分

○会 場 上古井交流センター

○出席者 17人（参加市民）

○内 容

□【質問・意見・提案等】

⇒【回答】

□この説明会の内容で、美濃太田駅前に建設することで決定ということか。
⇒あくまで案であり、決定ではない。今後、市民や議会と議論しながら進めたい。

□住民投票は行うのか。
⇒市民への理解が浸透していない現段階での住民投票は考えていない。まずは市民へ理解してもらうことを広めていきたい。

□資料に2050という文字があるが、2050年に市庁舎が完成する予定ということなのか。完成は何年頃になるのか。
⇒2050年は30年後の未来を見通して庁舎整備を考えていこうという思いの中で表記しているものである。完成は、今回の基本計画が策定されてから早くても約6年後となる予定である。

□説明会資料では、美濃太田駅南側に具体的に駐車場の表記がしていないが、どこに整備する予定なのか。
⇒駅南側について、市商業ビル（シティホテル美濃加茂）南側の民地の駐車場スペースを活用できないかと考えている。また、既存のシティホテル美濃加茂の第1、第2駐車場は市有地のため、そのまま活用したい。
駅北側については、シティホテル美濃加茂の第3駐車場を整備して、その駐車場をご利用いただき、庁舎まで来ていただくことも想定している。

□駅前の商店街を発展させようと思うと、商店街を利用する人の駐車場も確保する必要があるのではないか。

⇒民間の事業である再開発事業において、立体駐車場を整備する方向で進めている。そうした駐車場を活用できないかと考えている。

□シティホテル美濃加茂の第3駐車場は侵入道路が狭くて使いづらいと思う。また、第3駐車場付近は通学路であり、歩行者、自転車がも多く危険である。

駅北側から南側へのアクセスを考えた場合、やはり太い幹線道路が1本必要だと思ふ。

⇒第3駐車場へは駅北側ロータリーから直接の進入を考えている。利用のしやすさはもちろん、安全対策についても十分配慮し、道路整備と併せて駐車場を整備したい。

駅の北側から南側への新たな道路の整備は困難である。南側に来ていただくからの新庁舎へのアクセスを良くするための道路整備を行っていく。

□浸水区域内に庁舎を建てることになるため、防災拠点として機能するか心配である。

⇒新庁舎は人が集まって救助活動をするような場所ではなく、災害対策本部など指令機関がしっかり機能すればよいと考えている。

また、新丸山ダムของ工事が始まったが、完成すると木曾川の水位を下げる事が可能になるように、新庁舎以外の事業で総合的な水害対策を実施しており、今後でも取り組んでいく。

□駐車場の確保のために民地を取得し、立ち退きが想定されるのか。

⇒民家のある土地以外の土地を取得することを想定しているため、立ち退きは想定してない。

□駅周辺に新庁舎が整備されるということだが、この庁舎整備により本当に市が発展すると思っているのか。

⇒新庁舎とまちづくりをセットで考えている。駅南側に整備することで新庁舎をいかしたまちづくりができると考えている。

また、借金を少しでも少なくして事業を進めることが将来の負担を減らすこととなり、大切であると思っており、コスト面を考えても駅南が最適ではないかと考えている。

□職員が幸せを感じられるような新庁舎にしてほしい。職員が生き生きと仕事をしていけば、きっと空気感が変わってきて、来庁者にも伝わり、自然とにぎわいも生み出せるのではないかと思ふ。